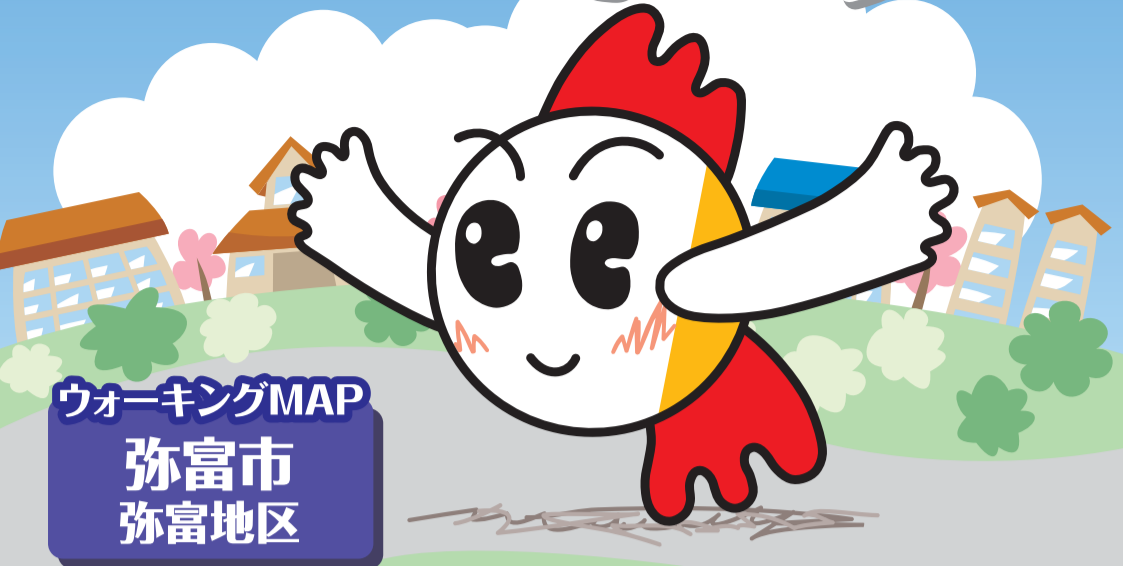


みんなでウォーキング



ウォーキングMAP
弥富市
弥富地区

目線をあげて、少し遠くを見ましょう。

肩の力を抜いて、腕はリズムカルにふりましょう。

かかとで着地し、つま先で地面をけりましょう。

歩き方のポイント

背骨を意識して、軽やかに歩きましょう。

歩幅は少し広めにしましょう。



季節を感じて、無理なくウォーキングを楽しみましょう♪

発行/平成30年3月 弥富市健康推進課
 企画編集/弥富ふるさとガイド 弥富健康づくりはつらつ会 健康運動指導士

【史跡】

2 孝忠園

漢詩人の服部擔風（名誉市民）の古希の記念に作られたもので、誠実・真心を説いた漢詩碑があります。隣には、三周忌に遺徳を偲んで門人たちが建てた筆塚があります。

3 服部家住宅

織田信長との戦いの後に建てられた主屋は、400年以上の民家であり、建築様式は鳥居造りで、国指定の重要文化財（表門などを含む）です。尾張津島天王祭の神事を伝え、伝統が重んじられています。

4 柴ヶ森

弥富の最も古い地名であり、850年前の平治の乱で源義朝が逃れる折り、舟に積んだ柴を降ろした地と言われていました。この地が森となって今の地名になりました。元総理大臣加藤高明の題字で「柴ヶ森」の碑があります。

6 焼田港址

150年前の明治元年、京都から江戸に向かう明治天皇の船が、初めて御着船された場所です。木曾川の支流である佐屋川を北上されたが、砂が多く、佐屋港までは到着できなかったのです。

歴史散策コース

距離：5.7km

所要時間：
約1時間25分



— ルート
 - - - 五明輪中

信号ないので注意して渡りましょう

来た道を戻ります

コースには幅の狭い道もあります。交通安全を心がけ、ルールとマナーを守ってウォーキングをしてください。

スタート
ゴール
地点

水の歴史めぐりコース

距離：4.7km

所要時間：
約1時間10分

【史跡】

② ふたつやの渡し跡

明治の東海道、西の起点で川湊が整備され、桑名と結ぶ産業の拠点となりました。昭和8年の尾張大橋と国道1号線が完成するまで、多くの方が往来され、大変にぎわった地点です。

③ 立田輪中人造堰樋門

じんぞうせきひちん

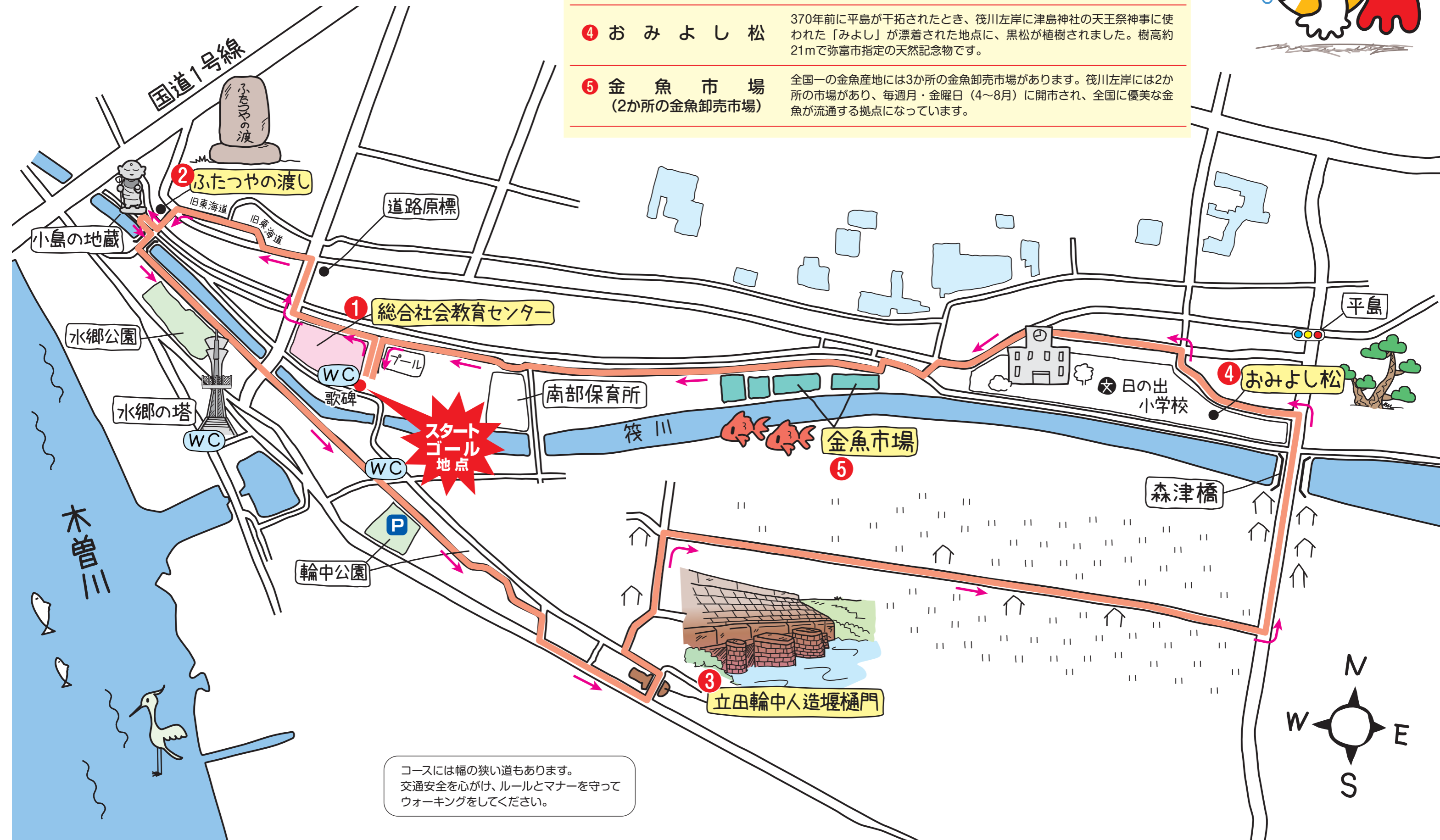
明治22年の木曾川改修の折り、立田輪中の排水が困難になり、筏川を通じて鍋田川に流す堰が造られました。建設手法が歴史的手法の人造堰であり、明治の産業近代化遺産に認定されています。

④ おみよし松

370年前に平島が干拓されたとき、筏川左岸に津島神社の天王祭神事に使われた「みよし」が漂着された地点に、黒松が植樹されました。樹高約21mで弥富市指定の天然記念物です。

⑤ 金魚市場 (2か所の金魚卸売市場)

全国一の金魚産地には3か所の金魚卸売市場があります。筏川左岸には2か所の市場があり、毎週月・金曜日(4~8月)に開市され、全国に優れた金魚が流通する拠点になっています。



コースには幅の狭い道もあります。
交通安全を心がけ、ルールとマナーを守って
ウォーキングをしてください。